

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 3月1日

事業所名 Atelierみるく児童

	チェック項目	はい	どちらか どちらか もない	いいえ	工夫している点	評価の中で特に高い点と評価された 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導員室等スペースとの関係で適切である	13	1			当事業所は個別レッスンや少人数でのレッスンが主体ではありますが、活動スペースは十分確保できております。
	2 職員の配置数は適切である	13	1			児童指導員の資格を有する芸術療法、理学療法士等の専門職員や、大学学生のサポートスタッフを配置し、利用者の人数に対して十分対応できるように配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	12	2			EVI、バリアフリー、ユニバーサルデザインを取り入れた建物を使用しているため、車椅子の方にも、とても利用しやすいと思っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	12	1	1		週1回の職員会議を行い、常に業務について話し合うようにしています。非常勤職員に対しても会議録の内容を共有しています。今後も職員一同業務の改善に努めてまいります。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげている	13	1			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13	1			自己評価の結果は法人のHPの各事業所ページにおいて、公開しております。 https://www.raipolnaea.com/
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	12	1	1		現在は、外部評価機関は利用しておりません。今後検討していきたいと思っています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	1		-どんな研修をしてほしいのかアンケートがあてないかも	毎年、年末と年度末に、全職員対象の研修を実施し、療育の資質向上に努めています。また、個人において、場内外の研修や講演活動や表現活動に積極的に参加し、日々研鑽を積みあがっております。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	14				最初に個別において、ご家族様やお子様のニーズを聞き取りながら、またお子様の現状(強みや弱み等)に応じた支援内容をご提案できるようなことしております。
	10 子どもと適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	13	1		-医療機関などのアセスメントは積極的に受けても良い参考している	事業所内で標準化されたアセスメントツールは現在使用していないので、医療機関などのアセスメントや検査結果を共有させていただき、レッスンへ反映させていきたいと考えております。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	13	1			週に1度の職員会議において、各員の現状や課題を報告しあいをし、非常勤職員全員で情報を共有し、プログラムに反映させています。
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	1			療育の専門性を重視しながら、お子様の成長に合わせ、プログラムを刷新しています。お子様それぞれの好きなおと、得意なおとからアプローチし、安心してコンテンツに楽しめようとするよう配慮し、次第に活動の幅を広げていくことを目指しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	12	2		-身体の特長プログラムを長期休みには提案している	長期休暇期間には、習得の遅いレッスンではなかなか取り入れられない身体プログラムや、野外活動及びオンライン等普段行わないプログラムを定期的にご提案し、お子様の個人別な発達支援をしております。
	14 子どもと状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	13	1			ご要望を聞きつつ、お子様の状況に応じた個別支援と集団支援、プログラムの内容を調整させていただきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	2		-講師との打合せがいまひとつ足りないと感じている	当事業所に個別レッスンを多く、支援に担当する専門職員と非常勤職員の間で情報共有を行っておりますが、スタッフ間の連携や方針の共有や活動の事前準備をもっと充実させていきたいと思っています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	14				その日のレッスンをスタッフで振り返り、記録に残して次のレッスンのヒントを挙げていきます。
	17 日々の支援に際して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	1		-1ヶ月の記録になってから、その月の記録が確認しづらくならないよう対策している	支援後は毎朝記録を直し、スタッフ間で情報共有や支援の検証・改善へ活かしています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	14				非常勤と担当職員が定期的にモニタリング会議を持ち、支援計画の見直しや更新を行っています。
	19 ガイドラインの規則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	14				発達の手帳に詳しく、長期休業期間などお休み前、お子様の現状に応じた身体的プログラムを取り入れるなど、複数の活動を組み合わせた支援に努めています。次年度に向け、更に療育の専門性を高めていきたいと考えています。
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもと状況に精通した最もふさわしい者が参加している	14				児童発達またはお子様を担当する職員が職員に参加するようにしています。	
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもと学校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	12	2			要望に応じて夜間等時間外連絡を迅速し、学校や他機関との連携をとり、双方に負担が軽いよう連携調整等を行ってまいりたいと考えています。	

障 害 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	22	医療のケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	12	2		特に医療のケアが必要なお子様には、医療機関や主治医とも連携しなが ら、支援内容を検討し、支援を行っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報 共有と相互理解に努めている	13	1		要望に応じて保育所等訪問支援を派遣し、学校や幼稚園との連携を取り、 移行支援を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場 合、それまでの支援内容等の情報を提供する 等している	13	1		詳細情報共有を促して、移行支援の会議を行い、スムーズに就労支援に つなげるよう、情報提供を行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ている	11	2	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がい のない子どもと活動する機会がある	11	2	1	べいーだキッズとの交流クラス	障害者用の集団プログラムは、「べいーだキッズミュージアム」とのインク ループセッションを実施しており、双方にとって成長の機会となるような場 を創出しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加して いる	8	5	1		郡山市からご案内があった場合は、積極的に参加させたいと考えていま す。昨年度はオンラインでの参加でした。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っている	14				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレントトレーニング等の支援を 行っている	11	2	1	べイアは無いですが、交流クラス参加 者のお母さんたちには学習会を月1開催 している	今年度は希望者に対し、オンラインでの学習会などを実施してまいりまし た。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っている	13	1		契約時に詳細をご説明しています。	ご契約時に内容をご説明させていただいております。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に対応し、必要な助言と支援を行っている	14			希望に応じて暫くは相談業務を行って います。	運営、事業所内相談などの支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援して いる	10	3	1	コロナで難航することには思入た。今 後復活したら検討したい。 父母の会は特に役にたいが、今後 交流の機会を作りたい。	職員と保護者間の交流会、または学習会を定期的に実施してまいりまし た。今年度は、オンラインでの開催が主となりました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体 制を整備するとともに、子どもや保護者に周知 し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し ている	13	1		契約時にご説明している。	苦情対応についての体制を取り決め、ご契約時にご説明しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し て発信している	11	2	1	HPなどで発信しているが今年度はもっ と周知したい 会報は無いが、LINEにて個々の活動の 様子や行事の案内を送っています。	会報はありませんが、特約プログラムのお知らせ、レッスンの様子や、お子 様の製作した作品などをLINEやInstagramなどのSNSなどを活用しておし らせています。
	35	個人情報に十分注意している	14				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしている	14				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	10	4		ギャラリー音楽子ラスオーブニングイベ ントでななみ劇のコースを地域の皆 んに発表しました。	開催のギャラリー音楽子ラスがラジオオープンしたので、今後地域の方を 来賓や観客などにお招きできるようなりたいと思います。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周 知している	14			マニュアルはエクストラに常設してい ますが、気づかれていないかも。	契約時にご説明しておりますが、保護者に毎年更新前のお便りや、周知 したいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っている	14				毎年職員で、1回の机上訓練、1回の避難訓練を行っています。
非 常 時 等 の 対 応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	13	1		毎年、全職員の合同研修に合わせ、 虐待防止委員会を開催している。	毎年職員研修において虐待防止委員会を開催しています。
	41	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等 デイサービスに付随して実施している	14				毎年、職員研修において、虐待防止委員会を開催し、身体拘束等の必要な 届書の確認などを行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	14				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 している	14				